

## 算数・数学クリニック

「算数・数学クリニック」では算数・数学の学習につまずいている子どもたちへ学習支援を行っています。ところが令和2（2020）年の年明けから猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で、その活動も自粛、縮小を余儀なくされています。しかし、この日は十分に感染対策を講じた上で、1年10か月ぶりに開催することができました。小学校で習うわり算と日常生活でわり算が必要な場面とを結びつけるその日の活動シーンを紹介します。

クッキーがたくさんあって、4人で仲よく分けることにします。4人が勝手に好きなだけ取るのではなく、それぞれの取り分が等しくなるように分けます。何人かでそれぞれの取り分が同じになるよう分ける場面では、1人分はいくつになるのか、自分の分はいくつなのかは大問題です。

そこで小学3年生の児童が実際に分けてみました。その前に、クッキーは全部でいくつあるかを確かめておきましょう。ひとつずつ数えてみると24個ありました。これを4枚のお皿に分けていきます。まずは見当をつけて4個ずつ配ってみたら余ってしまったけれど、続けて残りを配ることで等しく分けることができました。分けたところを見ると、それぞれのお皿に6個のクッキーがのっています。

ところで最初、クッキーは全部でいくつあったのでしょうか。今度はひとつずつ数えなくても、6個のクッキーがのったお皿が4枚あるので、 $6 \times 4$ で24個です。かけ算を使うと最初の数の24が出てきました。

さて、24個のクッキーを4人で等しく分けるとき、4人で分けるから、 $24 \div 4$ （24わる4）となります。もし、人数が増えて8人で分けるとしたら、 $24 \div 8$ （24わる8）となります。わり算を使うと等しく分けるときの1人分がわかります。

そして、こんなことも考えてみます。4人で分けたときと3人で分けたときでは、1人分が多いのはどちらでしょうか。あなたがうれしいのはどっちでしょうか。

2021年12月1日の様子



全部で24個を確認する



4つのお皿に分けていく



8人で分ける（ $24 \div 8$ ）



3人で分けると取り分が多い

参加した子どもたちにとって「算数・数学クリニック」は、時間がかかっても自分なりの理解をして自分のものにしていく場になっています。これまでに参加した子どもたちの延べ人数は2300名を超えています。



教育学科 穴田恭輔准教授

担当者

教育学科 穴田恭輔 および大学生スタッフ

実施日時

毎週水曜日 16:00～18:00

開催場所

神戸女子大学 須磨キャンパスM館 315教室